

毎週日曜発行
2021 10/17

こども新聞

週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ

プロ野球の取材ってどんな感じ？

ニュース



こども記者が取材



プロ野球取材で使うカメラにふれる3人のこども記者たち＝仙台市青葉区の河北新報社

宮城県亘理町の野球が好きな小学生から「プロ野球の取材はどうやってしているの？」という質問が届きました。かほピョンと亘理小4年石垣希絆君(10)、小室優作君(10)、武田真鉄君(10)が、東北楽天ゴールデンイーグルスを担当する記者に直撃取材したよ。



プロ野球取材は2月のキャンプインで本格的にスタート。シーズン開幕後は北海道から九州まで全国を飛び回ります。

河北新報社スポーツ部の中村紳哉デスク(50)は計8年、東北楽天を担当しました。「地道な努力を積み重ねてきた選手が試合で活躍すると、うれしい」と、野球取材のやりがいを説明します。最も記憶に残っているのは、日本一に輝いた2013年シーズンです。「2月のキャンプで田中将大投手が『この時の野球界の主役は俺たち楽天だ』と宣言。本

当に日本一となったので印象が強い」と話します。



記事とともに紙面に欠かせないのが迫力ある写真。写真映像部の藤井かをり記者(28)に持ち物を見せてもらいました。カメラ2台、パソコン、望遠レンズ、ストロボ…。「春先や秋が深まったときのナイターは気温が2度ということも。手がかじかんでシャッターを押せなくなるので、手袋

記事、写真 時間との勝負

や使い捨てカイロも必要です」と藤井記者。道具の重さを合計すると、20キを軽く超えます。

カメラマン席は1塁側、3塁側のベンチ横とバックスクリーン横にあり、そこからヒットやホームラン、ピッチャーの打球フォーム、選手の表情などを狙います。1試合に撮影する写真は3000〜4000枚に上りますが、新聞に掲載されるのは1枚か2枚です。

藤井記者は「決定的場面を撮り逃さないよう集中力が求められます。いい写真が撮れたときはホッとしますね」と語りま



2人とも取材で大変なことに「時間との勝負」を挙げました。とくにナイターでは朝刊の締め切りまで余裕がありません。いい紙面を届けるため、選手たちと共に記者も戦っています。

8面に続く

今週の注目ニュース

◇19日(火) 衆院選公示
衆議院議員465人を決める選挙戦が始まるよ。立候補者は投票日(31日)前の30日までの12日間、18歳以上の有権者に公約を訴え、支持を呼び掛ける。誰がどんな政策を掲げているか、注目してみよう。

今日の紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 記事で東北楽天後押し

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ